

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	健康管理概論						授業形態		講義	
科目コード	304600	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒								ICT活 用	○
授業概要	健康管理概論は、管理栄養士国家試験における9分野のうち「社会・環境と健康」分野に位置付けられている。 本授業では、公衆衛生学に引き続き、循環器疾患の疫学、生活習慣と健康、学校保健、国際保健などについて、国試過去問を題材として学習する。 また公衆衛生学で学習した内容について過去問を題材として反復学習する。									
関連する科目	履修前に、公衆衛生学を受講しておくことが望ましい。 履修後に、保健医療福祉システム論を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	第1～9回の進め方 ①国試過去問解説を聞く ②本日の練習問題に関するPPを提示するので、必要に応じてマーキングを行う。 （①②とも適宜、スライド撮影時間を設けますので必要であれば撮影してください） ③ミニ回答用紙に「覚えておきたい事柄」を記入する（5分） ④練習問題（6～8問）を解く→ユニバのテストにて提出（出欠&平常点） ⑤資料を見たり、周囲と相談したり、教員に質問したりして練習問題を再度解きなおす →ユニバのテストにて提出（出欠&平常点） 第10～15回の進め方									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション ：授業概要、授業の進め方、授業計画、授業の到達目標、時間外の学習、評価方法等について理解し、予習に取り組む。									
授業計画 【第2回】	循環器疾患の疫学について（国試過去問題8問） 心疾患や脳血管疾患率の年齢調整死亡率の推移等を理解する									
授業計画 【第3回】	身体活動の必要性について（国試過去問題7問） 厚生労働省が策定した「健康づくりのための身体活動指針」の年代別の違い等を理解する。									
授業計画 【第4回】	わが国の喫煙対策について（国試過去問題9問） 喫煙率の推移や受動喫煙対策等について理解する。									
授業計画 【第5回】	わが国における飲酒対策について（国試過去問題7問） 飲酒率の推移や未成年の飲酒の防止策等について理解する。。									
授業計画 【第6回】	睡眠・休養の重要性について（国試過去問題8問） 厚生労働省が策定した「睡眠指針」や「休養指針」等について理解する。									
授業計画 【第7回】	歯科保健行動について（国試過去問題7問） わが国で実施されている「8020」運動等について理解する。									
授業計画 【第8回】	国際保健について（国試過去問題8問） WHO、ODA、JICA、FAO、WFP等の役割を区別できるようになる。									
授業計画 【第9回】	学校における保健対策について（国試過去問題8問） 学校感染症における対応や、健康診断の項目等について理解する。									
授業計画 【第10回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く① 出題例：年齢調整死亡率（直接法）の計算方法									

授業計画 【第11回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く② 出題例：人口動態統計における動向
授業計画 【第12回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く③ 出題例：プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの区別
授業計画 【第13回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く④ 出題例：日本国憲法第25条と社会保障制度のしくみ
授業計画 【第14回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く⑤ 出題例：公衆衛生の歴史
授業計画 【第15回】	公衆衛生学を含めた「社会・環境と健康」分野について、復習問題を解く⑥ 定期試験に向けた学習ポイントを把握する
授業の到達目標	①国家試験に必要な基礎的な知識および類似問題を解く際に活用できる力を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力】 ②課題提出の期限を守るようスケジュール管理能力を身に付ける【自らを律して行動できる力】 ③周囲の人と協力して正答を見出したり、他者の苦手なところをサポートしたりといった協調・協働力を身に付ける【協調・協働力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	<学習時間：20～40分程度> 教科書等を見ながら翌週分の問題を解き、回答番号を周囲の人と確認し、疑問点を明らかにしておく。
授業時間外学習【復習】	<学習時間：20～40分程度> ①まとめ資料をワードで作成し、ユニバの課題で提出する（期限までに提出しなかった場合は減点とする）。 ②練習問題を解きなおす（回答番号をユニバで提出する）。
課題に対する フィードバック	(1)過去問の解説を授業内に行う (2)まとめ資料の作成例を授業開始前にユニバの授業資料にアップする (3)練習問題の解説PPをユニバの授業資料にアップする 上記以外にも、質問等には授業時間外も含め対応する。
評価方法・基準	下記項目の割合に基づいて、総合的・相対的に評価する 1) 提出物・・・13%（練習問題8回分と復習問題6回分） 2) 定期試験・・・87% (1)試験範囲：「社会・環境と健康」分野 (2)試験問題数：30問 (3)試験問題形式：同科目・同様の番号選択式問題
テキスト	カレント 改訂 社会・環境と健康 公衆衛生学（建帛社）ISBN978-4-7679-0779-6
参考書	特に指定しない
備考	